

2023年8月24日

多様性が認められる寛容な社会の実現に向けた 鎌倉市との新しい世論調査手法に関する実証実験第2弾が完了

株式会社ドリームインキュベータ（東京都千代田区、代表取締役社長 三宅 孝之、以下 DI）は、多様性が認められる寛容な社会の実現に向け、神奈川県鎌倉市（市長 松尾 崇）と協力し行った実証実験が完了し、最終報告となる確報の公表をお知らせいたします。

■ 実証実験の概要

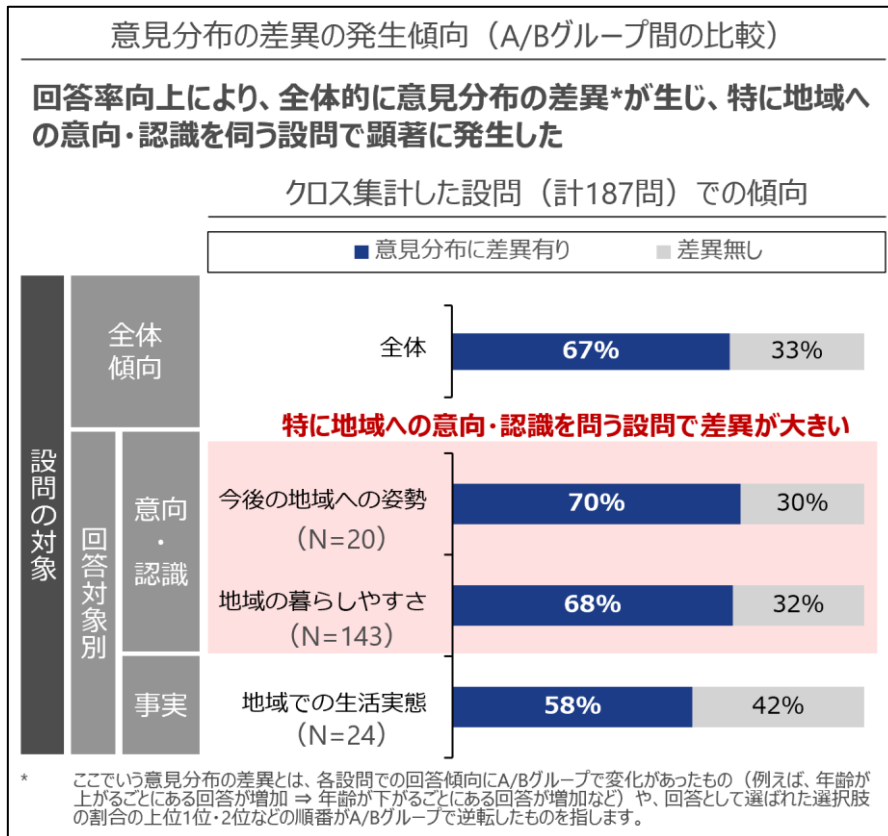
DIでは、多様性が認められる寛容な社会の実現に向け、“多くの人の意見を可視化”する手法の研究に取り組んでまいりました。一昨年春に行った鎌倉市での実証実験に続き、今回は実証実験第2弾として、地域の暮らしやすさと生活の満足度をテーマに、住民を対象にした意識調査を本年2月から3月にかけて共同実施しました。

調査にあたっては、計量経済学を専門とする国際大学の山口真一准教授の助言・協力の下、住民をA/Bの2グループ（各2,000人）に分け、施策の効果や、表れる回答結果の違いを検証し、本年4月末には本実証実験の速報にて、回答率向上施策を行ったAグループにおいて、行わなかったBグループに比べ回答率が約1.7倍となったことを鎌倉市のホームページを通じて公表いたしました。

（参考：2023年4月28日「[鎌倉市の暮らしやすさと満足度に関する基礎調査](#)」結果速報）」

■ 実証実験の結果（確報）

分析の結果、回答率向上施策を行ったAグループ（回答率56.0%）と、行わなかったBグループ（回答率32.3%）とで、分析対象とした計187問の67%で回答結果及び回答傾向が異なることが分かりました。



また、回答率の高いAグループの結果と、回答率の低いBグループの結果のそれぞれを情報源として、政策を検討した場合、検討内容に変化が生じることが分かりました。

	変化前	変化後
1 デジタル行政	デジタル行政をより進めるための根拠が必要だった <ul style="list-style-type: none"> 市民の満足度に繋がるかは、世の中的にも分かっていなかった 	市民の幸福度とデジタル行政利用の相関が明らかになったので、より推進していく <ul style="list-style-type: none"> 市民に寄り沿ったデジタル化を模索していく
2 公共施設利用	公共施設利用・アクセス向上に努めているが、より踏み込む対象を明確化する必要があった <ul style="list-style-type: none"> どの年代・地域に課題があるかを探索 	退職後世代が公共施設利用により課題を抱えていることが窺え、深掘りし政策を検討していく
3 都市景観	どのような景観の在り方が望ましいのか、政策の起点をどこに置くのか、根拠が必要だった	今の街の景観を活かす形での、街作りを検討していく
4 地域アクティビティ	地域チャリティ・ボランティアなど地域の活動を今後どう推進するかが課題だった	地域の活動が市民の満足度に繋がる可能性が見えたため、施策を検討していく
5 子ども政策	子育て支援は行ってきていたが、どれだけ踏み込むべきかは悩みどころだった <ul style="list-style-type: none"> 市民の満足度にどの程度繋がるのかが論点 	若年層が多くいることが、市民の満足度に繋がる可能性があるため、より施策を検討していく

■ 本実証実験の総評

今回の結果から、①調査テーマを変えた場合においても回答率が上がり、本研究において取り入れた調査手法の有効性がより明らかになったこと、②その上で異なる意見が表出し、政策の検討内容に変化を与えること、③そのため、政策を検討する上で、参考・根拠となる世論調査においては、回答率を上げることが実態世論（＝多様な意見）を反映する上で重要であることが、前回実証実験の結果と合わせて一層根拠づけることができました。

また、本研究で連携している国際大学の山口真一准教授からは以下の総評を頂いております。

「本件のように回答率を高める施策は、より広く住民の意見を収集し、エビデンスベースで政策を決める上で有効です。実際、一部の調査において、回答率の高い場合と低い場合で、大きく分布が異なっていました。

また、このような調査は継続して行うことで、実施した政策へのフィードバックも得ることができます。例えば今回は、生活の満足度と地域の特性・状況への評価との関係を分析することで、市としての強みと弱みが明らかになりました。調査を踏まえて政策を検討すると同時に、検討の結果実施する政策を住民がどう評価し、生活満足度がどう変化するかを、継続的に追うことで、データに基づいた政策の改善を行うことが出来ます。」

■ 今後の取組み

今後も引き続き国際大学の山口真一准教授と連携し、本手法の有効性を学術的にも検証して参ります。また、弊社が目指す、多様性が認められる寛容な社会の実現に向け、本手法の社会実装を進めて参ります。

なお、確報については、8月24日を目途に[鎌倉市 HP](https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/)に掲載いたします。

■ 鎌倉市について (<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>)

神奈川県沿岸部に位置し、海、山などの豊かな自然環境や多くの神社仏閣などの歴史的遺産に恵まれた、人口約17万人が暮らすまち。誰もが生涯にわたって、自分らしく安心して暮らせる“共生社会”の実現を目指している。

■ 株式会社ドリームインキュベータについて (<https://www.dreamincubator.co.jp/>)

ビジネスにおける最も普遍的で有益な戦略コンサルティングスキルと、インキュベーションで培われるリアルかつ当事者的な経営力を融合することにより、「社会を変える 事業を創る。」をミッションに、新たな事業や産業の創造・成長支援を行う「The Business Producing Company」。

【本リリースに関する問合せ先】

株式会社ドリームインキュベータ コーポレートコミュニケーションチーム
 電話：03-5532-3200 / Email：info@dreamincubator.co.jp